

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	19205
----------	-------

1. 開設大学	広島女学院大学	開催方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面 ( 本学 ) <input type="checkbox"/> オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	身近な学校生活から考える教育学入門					
	学問分野	番号	14	名称	教育学	
3. 担当教員	中村勝美、大橋隆広 (人間生活学部 児童教育学科)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 3 年 8 月 22 日 (日) 9 時 00 分 ~ 12 時 10 分 ( 90 分 × 2 回 )					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
5. 募集定員	30 人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>この授業では主に教師を目指している高校生を対象に、身近な学校生活の中で感じる疑問から、学校や教育について学びます。</p> <p>なぜ、靴下の色が校則で決められているのでしょうか。1 時間目の『「謎校則」から学校について考えよう』では、みなさんが一度は日常生活の中で感じる校則の「謎」を取り上げ、学校にある「当たり前」を問い直し、教育や学校生活の意味について探求します。</p> <p>また、みなさんのなかには、中学や高校での学校生活の中心が「部活」という人も少なくないのではないのでしょうか。学校を舞台にしたマンガ・アニメ、ドラマ・映画では、とりわけ、仲間、感動、青春…といった「美しいイメージ」で部活が取り上げられています。コロナウィルスの影響で「部活」ができないこと、大会が中止になったことも話題になりました。しかし、そもそも学校生活の中で「部活」とは、なんのためにあるのでしょうか。2 時間目は、「美しいイメージ」で語られがちな「部活」の意味について探っていきます。</p> <p>「謎校則」や「部活」という、みなさんにとって身近で当たり前なものを教育学の観点から問い直すことで、よりよい学校や教育のあり方について考えましょう。</p> <p>① 9 : 00~10 : 30 「謎校則」から学校について考えよう</p> <p>② 10 : 40~12 : 10 「部活」から学校について考えよう</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 (あり・ない)	① 最少開講人数 ( 5 人 ) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7月9日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月10日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと オンライン (同時・録画) の使用ソフトなど 授業のなかではグループワーク (少人数での話し合い・発表) をします。					
11. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。  
 コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講またはオンライン (同時・録画) へ変更になる場合があります。